

# 我が村の変遷

遠藤 武一

年号	事項	年号	事項
明治 元年	若松城落城により、会津戦争終わる。	明治二十一年	市町村制実施により、館ノ内村・川南村・荒井村各々 できる。
〃 三年	平民に姓を許される。	〃 二十六年	此の年磐梯山水蒸気大爆発山容改まる。
〃 四年	廃藩置県令により、若松県出来る。	〃 三十四年	川南尋常小学校並びに荒井村館の内村組合で荒井館ノ 内村尋常小学校となる。
〃 五年	戸長制度しかれる。	〃 三十五年	高田橋架かる。
〃 六年	下小松常徳寺に小学校創設される。	明治三十七八年	実業補習学校令布かれる。
〃 八年	下荒井連華寺に開明小学校創設され、 同年下荒井小学校と改称された。	〃 四十一年	日露戦争。
〃 九年	大字制度布かれる、二方甲、乙等の字が出来る。	〃 四十二年	川南小学校全面新築する。
〃 十二年	若松県廃され、福島県となる。	〃 十五年	小学校令改正され尋常科六年、高等科二年制となる。
〃 十五年	郡制布告で北会津郡できる（館ノ内・川南・荒井・神 指・永和・町北・一箕・東山・大戸・門田・高野・湊） の十二ヶ村で北会津郡となる。	〃 十六年	同年耕地整理法により、二方地区耕地整理行われ会津 で二番目に一反区画の田畑が出来た。（一番早い所は、 高田町西裏地区と聞く。）
〃 十七年	下荒井小学校を三ッ分けて、二方小学校と中石小学校 が設けられ一三三年生の下等生を教育された。	〃 二十二年	川南村に実業補習学校できる。
〃 二十年	これは、生徒数の急増によってと言われておりました。 場所は、二方小学校は、基盤整備前今和泉・鷲林間の 中間に恩賜郷倉が建ってあった地所で在ったと、古い 人は、話されていた。	大正 三年	蟹川橋架かる。
	連華寺焼失のため同村菊地某の宅を仮校舎とした。	〃 三年	会津線本郷駅まで開通する。
	下荒井小学校新築落成。	昭和 三年	蟹川橋架替られる。
		〃 六年	高田橋永久橋架かる。
		〃 十六年	小学校 国民学校と改称される。
			荒館中学校、川南中学校創設される。